

日々のあれこれ

前回の発行から時間が空いてしまいました。活動が本格的に始まり、日々慌ただしく過ごしています。日本は猛暑が続いているようですね。最近のメデジン市は、最高気温30度程度で、雨が少なくからっとして日本の夏より過ごしやすいです。それでもよく動いて汗をかけた日はそうめんや冷麺が恋しくなり、こちらにある食材で工夫しながらそれらしいものを作っています☺



○「PAISA」って？

私の住んでいるメデジン市で使われている言葉で、「地元の人」という意味です。2年間で私も「PAISA」の仲間入りしたいという想いを込めてこのタイトルにしました。

自立生活キャンプ



配属先である市役所の活動の1つに、「自立生活キャンプ」があります。公的なサービスの不足もありますが、コロンビアでは家族の結びつきが強く、障害のある人の支援も家族のみで行うことが多いです。暖かい家族の関係性の中で穏やかに過ごしている方が多い一方で、家族も本人自身も、離れて活動を行うことに不安を感じてしまいがちです。そのため、同じ障害のある仲間と外出し、一緒にホテルに泊まって様々な体験や日常的な活動の練習をするのが「自立生活キャンプ」です。私も参加者と一緒に学び、プロセスの改善のための提案・取り組みを行っています。キャンプの期間だけの一時的なもので終わらず、その後の生活の豊かさに繋がるように取り組んで行きたいと考えています。

常春の街メデジンの花祭り

メデジンは、温暖な気候を活かして切り花の栽培が有名です。昔花農家が山間部から花を背負って街に花を売りに来ていたところから、今は花の装飾を背負って練り歩く伝統行事となっています。祭り期間は毎日至る所でイベントがあり、人・音楽であふれています。日本のように十分な整備はされていないので、押し合いへし合いのカオス状態に戸惑っていると、道行く人から「これがコロンビアだよ！ ようこそ」と明るく声をかけられました。

PAISA

～コロンビア日記～

Vol.3

2025.8.20

板 華子



果物いろいろ

今回はサボテというフルーツを紹介します。私が食べたのはマミーサボテという種類で、他にも数種類あります。外側は茶色くサンドペーパーのようなざらざらした質感。皮をはぐとかぼちゃのような色をしています。繊維が多く、甘くカスタードのような味ながら粉っぽさもあります。ネットで調べると「カボチャ＋アーモンド風味」との表現がありました。「美味しい」でも「不味い」でも無く、「不思議」が一番しっくりきます。スムージー等に混ぜると美味しいので、次回は試してみたいと思います。



先日同僚から、「日本にコロンビアの何を持ち帰りたい？」と聞かれ、「創造性」と答えました。コロンビアの人達は面白い活動を考えるのがとても上手です。写真は依存症についての研修の導入で、同僚をミイラに装飾する活動でした。難しい内容の研修であっても、いつも親しみやすい活動も組み込まれるので、楽しみながら学ぶことが出来ます。面白い同僚たちに囲まれて、クリエイティブな発想力を鍛えたいと思います！

所感

コロンビア生活も半年が過ぎ、治安上気を付けた方がいい地域、何に気を付けたいのかも把握できてきました。私が住んでいるのは比較的安全な地域ですが、夜はリスクが上がるので19時以降は歩かずタクシーを使います。愛情深く優しい人が多いですが、貧困から必要に迫られて強盗等の犯罪が多くあります。同僚はこの現実を「悲しいけど必要な泥棒」と言っていました。

市役所であっても8割程度は契約社員で不安的な勤務形態なので、副業している人が多く、職場でアイスやお菓子等を売っている同僚が多くいます。お互いに必要性が分かっているのも、生活をサポートするのはここでは当たり前のことです。知人から生活をサポートするためのチケットを買って欲しいと頼まれたこともあります。お金の価値観が揺らぐことが多くあります。

板 華子（いた はなこ）

コロンビア・メデジン市役所配属
ソーシャルワーカー・南部町出身

○Instagramも時々更新しています。右のQRコードかアカウントhana_en_colからご覧ください。



@HANA_EN_COL